



令和3年7月20日

地域の方からうれしいお手紙をいただきました



一市民より

小生の家の北側は通学路になっています。つい先日のこと、外を見てみると中学生が下校していました。自転車を降りて歩いていた一人が私と目が合いました。するとその中学生が、大きな声で「さようなら」と言うではありませんか。私も驚いて、にっこり笑って「おかえり」と窓越しに言いました。ここに住んで50年、声をかけられたのは初めてでした。

その後、隣組の回覧板で東中の校長講話を拝見し納得しました。校長先生のあたたかく皆を包む姿勢に感動し、胸が熱くなりました。

どうぞお体をご自愛なされ東中の子どもの成長をお願いいたします。一寸お礼の一言を申し上げます。

このお手紙を全職員、子どもたちと共有しました。生徒会活動の大きな柱の一つである「相手意識に立ったあいさつ」が、全校に広がり、それが日常生活の中で活かされ、地域の方にも認めていただけたことは、子どもたちにとって大きな喜びと自信につながりました。そして、滝澤校長が生徒に伝えている「自分のことを大切にすると同じように周りの人を大切にする」の具体的な姿ではないかと考えます。私たちは保護者や地域の多くの方に見守られ、支えられていることを改めて実感することができました。

お手紙をいただいた翌日に、本校を見守り、支えてくださっている学校評議員の皆様に来校いただき、生徒の学びの姿を参観いただくとともに、学校運営に関わる意見交換をする場がありました。学校評議員の皆様からは、自然なあいさつができる姿、自然な対話の中で学びを深めている姿、掲示物が工夫されていることなど、子どもたちの良さを教えていただきました。今後も、学校評議員の皆様にご支援いただきながら、子どもたちが主体的に学んでいくことができる授業づくりや学校づくりを続けていきます。



【学校評議員の皆様を紹介します】
左から 小林 眞隆 様
鈴木 仁美 様
栗林 正直 様
田中 清香 様



生徒の様子から

◇7月6日（火）7日（水）は、それぞれの学年において、体験を通した学習が実施されました。1学年は白馬での宿泊学習、2学年は職場体験学習、3学年は進路学習・性教育講演会等です。体験を通すことで、実感を伴った学びにつなげることができました。



【1年唐松岳登山の様子】

◇今月に入り、各運動部の県大会、吹奏楽コンクール東信地区大会が行われています。惜しくも敗退してしまった仲間の悔しさやあたたかさを背負って、持てる力のすべてを出し切っている姿は、輝いています。7月16日（金）に行われた壮行会では、柳生徒会長から次のようなエールが贈られました。

県大会に出場する選手の皆さん、そして東信大会に出場する吹奏楽部の皆さん、おめでとうございます。

まず、県大会へと駒を進めた運動部の皆さんは、ひたむきに練習に取り組んできたことと思います。今の心と体のコンディションはどうでしょうか。本番にのぞんでも、長い間闘い続けてきた皆さんなら、何があっても最後まで闘い抜くことができます。惜しくも県大会に進めず、東信大会で涙をのんだ選手たちの分まで、最高のプレーをしてください。

吹奏楽部の皆さん、今まで壮行会のたびに、運動部の選手たちを演奏で送り出してきましたね。今度は皆さんが全校生徒の応援を受けて送り出される番です。これまで何度となく選手の皆さんの背中を押してきた皆さんだからこそ多くの人の心に響く演奏ができるはずです。昨年度は、コロナの影響で無くなってしまった幻の舞台であるこの大会で、積み重ねてきた厳しい練習の成果を出し切り、素晴らしいハーモニーを響かせてください。

最後に、大変暑い中での大会となります。全力を尽くしながらも水分補給などの体調管理を忘れず、大会明けの月曜日には笑顔で元気に小諸東中に帰ってきてください。

健闘を祈ります。



壮行会で校長先生より

<お知らせとお願い>

・7月22日（木）～8月19日（木）は夏休みとなります。今年度は、東京オリンピックによる祝日の変更等により29日間という例年よりも長い休みです。普段、時間がなくてできなかったこと、じっくりと時間をかけてやりたかったことなどに取り組める期間でもあります。コロナ禍ではありますが、自分で決めた目標に向かってチャレンジし、充実した夏休みとなることを願っています。**そして、休み明け全校生徒が元気な姿で登校をしてください。【8月10日（火）～8月17日（火）は学校閉庁日となります。どうしても学校と連絡を取り合う必要がある場合は、小諸市役所（22-1700）に問い合わせをお願いします。学校側から連絡を差し上げる形で対応いたします。】**



◇6月下旬に、生徒玄関と職員玄関の間のロータリーのところにある通称「アンネのバラ」が咲きました。前校長早川先生と依田庁務員が植え、世話をしてきたそうです。アンネのバラは、自然を愛し、とりわけバラが好きだったアンネ・フランク（第二次世界大戦中の強制収容所で、15歳という短い生涯を終えた少女）の形見のバラです。日本へは父のオットー・フランクから寄贈されたものが広まり、愛と平和のシンボルとなっています。今後も大切に育てていきます。



夏休みには、人の移動が盛んになることが予想されます。引き続き感染対策をしっかり行っていただきますようお願いいたします。部活動や生徒会活動等での登校に際し、お子さん本人や同居のご家族に発熱・風邪等の症状が見られる場合は、学校に連絡いただくとともに、登校を控えていただくなどの対応をお願いいたします。